



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 114 号

R5.5.16

文責 中西 勉



「やりたい！」が大事 ～「うんどう べんきょう がんばろう」～

昨日の朝、校内放送による全校集会を行いました。その場で私は、今年の運動会は、開校 150 周年記念の特別な運動会なので、男川っ子のみんなに一生懸命頑張ってほしいとエールを送りました。その際、若い頃の私も運動を頑張っていたという姿を子供たちに見せようと、私が大学 4 年生の時、当時の人気テレビ番組であった「ビートたけしのスポーツ大将」に、走り幅跳びで出場したときの映像を放送しました。テレビ画面に若かりし頃の私が映し出されると、男川っ子は大きな声で応援をし、私の頑張りに対して惜しみない拍手を送ってくれました。この男川っ子の温かい気持ちがとてもうれしかったです。

そして、映像を見終えた後、私は男川っ子に向けて、次のような話をしました。

“教室の後ろには、『男川っ子五つのやくそく』が貼ってありますね。その三つ目に“うんどう べんきょう がんばろう”がありますが、運動や勉強を「やりたい！」という気持ちがとても大事だと思います。それは、「やりたい！」という気持ちがあると、それを続けることができるからです。続けてやっていると、そのことが「好き」になります。そして、「好き」なことは次第に「得意」になり、最後は自分に「自信」がもてるようになります。だからこそ、最初の「やりたい！」を大事にしてほしいのです。運動や勉強だけでなく、絵を描くことなど、何でもいいです。自分の「やりたい！」を見つけて、それに挑戦しましょう。”

「やりたい！」は、子供の達成感や自己肯定感を育てることにつながります。今後も学校や日常生活の中で、子供たちの「やりたい！」という気持ちを、保護者の方々と連携しながら大事にしていきたいと思います。ご理解とご協力をよろしく申し上げます。

【37年前のなつかしい思い出】 私が大学 4 年生のとき、運よく「ビートたけしのスポーツ大将」の走り幅跳びの東海予選会に参加する機会を得ました。愛知青少年公園（現在の「モリコロパーク」）で行われた東海予選会で、6m71cm（この記録は番組新記録となり、その後も破られませんでした）を跳んで優勝したことで、東京で行われる全国大会にも出場することができました。全国大会では、わずか 2cm 差で準優勝に終わりましたが、1～3 位に入賞した選手は、東京六本木のテレビ朝日のスタジオに招待され、直接ビートたけしさんやたけし軍団の方々とお話をさせていただきました。この貴重な経験は、私にとって大切な青春の 1 ページになっています。



▲校長室の前に展示してある優勝カップと新記録賞のカップ



【5年】田植え体験

先週 11 日（木）に、美合町の小久井農場様のご厚意で、5 年生が田植え体験をさせていただきました。素足で田んぼに入って苗を植える体験は、ほとんどの子が初めてだったと思います。今回植えた稲が、秋にたくさん黄金色の穂を実らせるのが楽しみです。



▲泥にまみれながら苗を植える 5 年生